

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	学校内で安全を見守る支援的スタッフに関する調査研究		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	学校健康教育課		学校健康教育課長 平下 文康			
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	学校保健安全法第3条		関係する計画、 通知等	・学校保健法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議(平成20年6月10日参議院文教科学委員会) ・教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	近年、子どもが犯罪に巻き込まれる事件・事故が発生しており、通学路を含めた学校の安全確保は、重要な課題となっている。 このため、学校において専ら学校安全対策に従事する支援的スタッフなどの施策展開も視野に入れ、これまでの取組の先進事例の調査・分析等を行い、新しい公共による学校安全の取組を更に進展させる。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	新しい公共による学校安全の取組を更に進展させるため、各地域において行われているスクールガード・リーダーの配置や、学校安全ボランティア(スクールガード)等を効果的に活用する仕組みを整備し、地域社会全体で、子どもの安全を見守る体制の取組等の先進事例の調査や活動内容の分析等を行う。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
	予 算 の 状 況	当初予算				39	0		
		補正予算				-			
		繰越し等				-			
		計				39	0		
		執行額							
	執行率(%)								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	学校において専ら学校安全対策に従事する支援的スタッフなどの施策展開も視野に入れた、新しい公共による学校安全の取組の進展を図る。 数値で定量的に示すことは困難。		成果実績						
			達成度	%					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	実態調査の実施箇所数		活動実績					(実態調査: 20か所)	
	アンケートの実施箇所数		(当初見込み)					(アンケート: 1,800か所)	
単位当たり コスト	実態調査の実施 1,414,200(円/1か所当たり)		算出根拠	単位コスト=実態調査の実施経費(28,284,000円)/実施箇所数(20か所)					
単位当たり コスト	アンケートの実施 5,794(円/1か所当たり)			単位コスト=アンケートの実施経費(10,430,000円)/実施箇所数(1,800か所)					
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	初等中等教育等振興事業委託費	39百万円		平成23年度限りで廃止					
	計	39百万円							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・計画的に予算執行ができるように、スケジュール管理を徹底する。 ・当事業は、子どもの安全を見守る体制の取組等の先進事例調査等を完了することで、当初の目的が達成されると判断し、平成23年度限りで廃止する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>先進事例調査等を完了することで、当初の目的が達成されるため廃止するが、今年度の執行に当たっては早期執行に努めていくべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
39百万円

〔 学校安全の取組に関する先進事例
調査等の委託 〕



【公募・委託】

A. 民間企業等
39百万円

〔 会議開催
実態調査
報告書の取りまとめ 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.民間企業等			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	@39百万円×1法人	39			
計		39	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)